



「神は私たちとともに」
聖書箇所：ヨハネの福音書1章14節

【1】 ことばは人となって

- ・福音書それぞれの書き出し
 - マタイの福音書とルカの福音書：
 - ルカの福音書：
 - ヨハネの福音書：「初め」からおられた「ことば」であるイエスに着目
- ・「人」となられた「ことば」(ヨハネ 1:14)
→「人」(サルクス) = 「肉」：完全に人間になられた(参考ピロ 2:6b-7a)

▷クリスマスとは、この世界を創造された神がもろくて有限な「人」となられた出来事。本来時間や空間の制限を受けない神が、約 2000 年前に、地上に男子の初子として生まれ、飼い葉桶に寝かせられた出来事。

【2】 人が空しさを感じる理由

- ・人とは何か、私の存在理由は何なのか
- ・手に入れた瞬間に消え去る種類の喜び
→常に新たな何かを見出す旅へ
- ・人の存在理由：「神の栄光をあらわし、永遠に神を喜ぶこと」(ウエストミンスター小教理問答)
- ・最初の人の子の罪の結果
→朽ちないお方を朽ちるものに替えそこに生き甲斐を見出すように (ローマ 1:23)

▷どんなに魅力的で素晴らしく見えても、神に造られた物が、神に造られた私たちの心を真に充足させることはないのです。

【3】 私たちは、この方の栄光を見た

- ・「闇」を照らすまことの光
- ・「アルファであり、オメガである」方 (黙示録 1:8)
- ・イエスは私たちの自分の人生の目的を見出すために存在しているのではない！？
→私たちがイエスを通して神の栄光を見る時に…

▷クリスマス、人となられた主を礼拝し、救い主の誕生をともに喜び祝いましょう。